

平成30年10月11日

村山・置賜地区災害情報普及協議会

実際の避難行動を踏まえた 地域オリジナルの検討会を開催!

～自分達のハザードマップ作成から・現地標識設置・訓練の実施に向けて～

近年の豪雨災害を踏まえ想定し得る最大規模の降雨に伴う、浸水想定区域に対応した『※まるごとまちごとハザードマップ』の取組みを長井市館町南及び館町北地区で実施します。

今回は、実際の避難行動単位となりえる自治会単位を対象に自ら主体的な行動に移せるための検討会を開催します。

1. 開催日時 平成30年10月12日(金) 18:30～20:30
2. 開催場所 長井市館町自治公民館(約40名出席予定)
3. 検討内容
 - ・避難する際の指標となるもの
 - ・手助けが必要な方等の洗い出し
 - ・避難ルートの検討 等
4. 取 材 会場での受付後、撮影は随時可能とします。

※まるごとまちごとハザードマップとは
自分たちの街に洪水にかかわる情報を標示して、いざという時に被害を最小限にとどめよう!
という取り組みです。

- 村山・置賜地区災害情報普及協議会
災害に関する情報の普及を支援するため、関係機関同士が効率的かつ一体的に情報共有し、災害時の連携を強化する組織です。

〈発表記者會〉 山形県政記者クラブ、米沢記者倶楽部

問い合わせ先

(村山・置賜地区災害情報普及協議会事務局)



国土交通省

東北地方整備局 山形河川国道事務所
山形市成沢西四丁目3番55号
TEL 023-688-8933(直通)
調査第一課長 栗田 政 芳(内351)

長井市 総務課
長井市まもの上5番1号
TEL 0238-84-2111(代表)
長井市 総務課長 小関 浩 幸

長井市館町南・北地区の「まるごとまちごとハザードマップ」

- ①住民、自分たちの手で「自分達の洪水ハザードマップ」を作るとともに浸水エリア、浸水の高さ、避難所までのルートを把握。
- ②地図に書き込み、実際歩いて見て「どのタイミング」で「誰と一緒に」どの「ルート」でどこに「避難」するか予め考え訓練しておくものです。

現在までの取組みと予定：



- まるまちとは何か
- まるまちの進め方



- 地区会への概要説明
- これからのまるまち予定
- 次回検討会に向けての事前確認



- 危険箇所、防災活動に役立つ施設の確認
- 避難する際の指標となるもの
- 手助けが必要な方等の洗い出し
- 避難ルートを机上で想定 等



- 実際に街中を歩いて見て避難ルートを含めて再確認する



- 自分達で街中に避難所・避難経路・浸水深などのわかる看板を設置し、防災意識高揚を図る